

5 交通

(1) 状況

管内は、JR飯田線及び中央自動車道が南北に走り、国道6路線（151, 152, 153, 256, 418, 474号）、主要地方道13路線、一般県道36路線が走っています。

管内の路線は未改良区間が多いため、生活基盤の一つである道路交通網の一層の整備促進が求められています。

(2) 三遠南信自動車道

自動車専用道路である国道474号三遠南信自動車道の飯喬道路（総延長22.1km）のうち、飯田山本IC～飯田上久堅・喬木富田ICの延長14.6kmは、令和元年11月までに開通しました。

飯田上久堅・喬木富田IC～喬木ICの延長7.5kmは早期開通に向けて工事が進められています。

飯田市南信濃で整備を進めている青崩峠道路（延長5.9km）では、平成31年3月から長野県側及び静岡県側でトンネル本坑の掘削に着手したのち、令和5年5月に貫通し、令和7年3月には本坑工事終了に伴う完成式が行われました。

(3) リニア中央新幹線

全国新幹線鉄道整備法に基づき、平成23年5月に国土交通大臣が整備計画を決定し、建設・営業主体にJR東海が指名されました。平成26年10月に、JR東海の工事実施計画（品川・名古屋間）が国土交通大臣に認可され、建設段階に入っています。

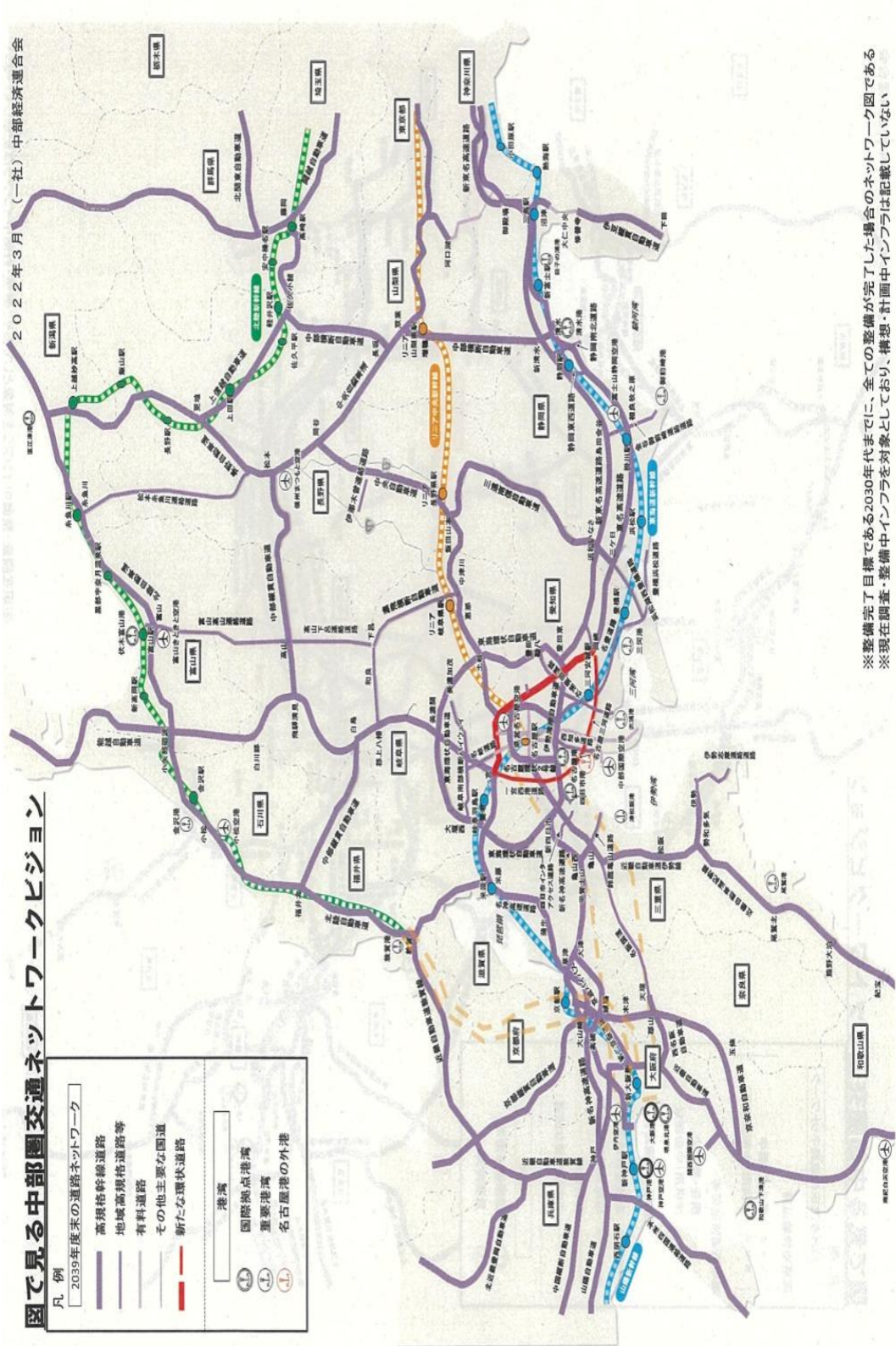
長野県内の路線延長は約52.9km（トンネル48.5km、地上部4.4km）で、飯田市上郷地区に長野県駅（仮称）が設置されます。平成28年11月に南アルプストンネル（長野工区）の安全祈願・起工式が行われ、現在は南アルプストンネル、伊那山地トンネル、中央アルプストンネルの本坑掘削が進められています。令和7年5月には、伊那山地トンネルの戸中・壬生沢工区と隣接する坂島工区が繋がりました。中央新幹線工事での本線トンネルが繋がるのは初めてとなります。

地上部については、令和3年10月より天竜川橋りょう工事に着手、令和4年12月には、長野県駅（仮称）の安全祈願・起工式が行われ、工事が進められています。

南信州地域JR飯田線
利用促進パンフレット



南信州地域周辺（中部圏域）の交通網整備



出典：一般社団法人 中部経済連合会 図で見る中部圏交通ネットワークビジョン